



# シンポジウム

# 「日本の労働の足跡と将来について語り合おう」

### 【石田講師からのコメント】

「成功」モデルとして注目された1980年代までの戦後の日本的な経営や雇用関係は、グローバル競争の激化を背景に、90年代以降、経済成長の停滞とともに、「働き過ぎ」、社会的不平等の弊害が拡大し、そのモデルの見直しが求められ始めて久しい。

近年の政府主導の「働き方改革」の推進に加え、昨年からのコロナ禍の蔓延によるリモートワークの浸透など、事態はビジョンなき閉塞状況に追い込まれ、日本の雇用関係の展望はなお不明瞭なままである。

このような状況認識の下、シンポジウムでは、人的資源管理、職場コミュニケーション、労働法学の視点より、戦後日本の雇用労働関係の足跡を踏まえた将来展望について、自由な骨太の議論をしてみたい。

### ■シンポジウム趣旨説明

同志社大学名誉教授

石田 光男

一般社団法人国際産業関係研究所所長

### ■報告

・第1報告 「職場における知恵の交換」

MBO実践支援センター代表

中嶋 哲夫

・第2報告 「これからの人的資源管理  
—知性人の時代へ—」

神戸大学大学院教授

上林 憲雄

・第3報告 「労働法の新たな歩み  
—労使関係への接近」

同志社大学准教授

寺井 基博

### ■報告の論点整理 (登壇者間の話し合い)

【コーディネーター】

同志社大学名誉教授

石田 光男

一般社団法人国際産業関係研究所所長

### ■参加者との質疑応答

【日 時】 令和4年1月21日(金) 午後6時30分 ~ 午後8時30分

【会 場】 エル・おおさか南館5階 南ホール

大阪府中央区北浜東3-14(OsakaMetro谷町線・京阪電車「天満橋駅」下車西へ300m)

【対象者】 労働組合員、企業の人事労務担当者、労働問題に関心のある方及び社会保険労務士等

【受講料】 3,300円 ※当日、会場前の受付でお支払いください。

【募集人数】 50名

【主催】 一般財団法人大阪労働協会 【共催】 大阪府

【後援】 日本労働組合総連合会大阪府連合会、一般社団法人大阪労働者福祉協議会、大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会

【申込先】 一般財団法人大阪労働協会 事業部

【および申込方法】 TEL : 06(6942)0001 FAX : 06(6942)1933 E-mail : ork@l-osaka.or.jp

以下に必要事項をご記入のうえ、事前にFAXまたは電話、Eメールでお申込みください。

エル・おおさかHPからのお申込みはこちら → <http://www.l-osaka.or.jp>

### 令和3年度(2021年度)大阪労働大学講座 シンポジウム申込書

勤務先又は所属先名			
所在地	〒		
ふりがな		TEL	( )
受講者氏名		FAX	( )